

お手入れと点検

日常のお手入れ

□本体・リモコンのお手入れ

本体やリモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ポイント ●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

□時刻の確認

リモコンの時刻がずれていると電気料金が高くなる場合があります。1カ月に1回程度確認を行い、ずれている場合は時刻を合わせ直してください。(P12)

1年に2～3回程度のお手入れと点検

点検中(漏電遮断器の動作点検、逃し弁の点検)やタンクのお手入れ中は、お湯を使用できません。

□漏電遮断器の動作点検

動作点検は、200V電源供給中[※]に行なってください。

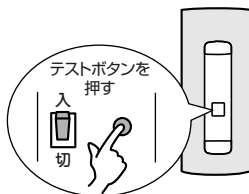
注.時間帯別電灯でご契約の場合は、いつでも点検できます。

深夜電力でご契約の場合は、夜間時間帯に行なってください。

①テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す



△警告 漏電遮断器の動作を確認する(感電の原因)

ポイント ●電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

□配管、缶体保護弁排水口からの漏水点検

配管の保温材破損や配管からの水漏れと、缶体保護弁排水口から水が排出されていないかを点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

△注意 配管を点検をする
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

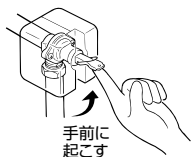
ポイント ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

□逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉

逃し弁のレバーを手前に起こし、排水(お湯)が排水ホッパーへ出ることを確認します。水(お湯)が出れば正常です。



〈水漏れ点検〉

わき上げをしていないとき(本体のわき上げ中ランプが点灯していないとき)、排水ホッパーから水(お湯)が出ていないかを確認します。水(お湯)が出ていなければ正常です。水(お湯)が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回動かしてください。

※リモコンをご使用の場合は、リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき

△警告 点検時は配管に手を触れない(やけどの原因)

△注意 逃し弁の点検をする(やけどの原因)

ポイント ●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。(点検時は、転倒しないよう注意してください。)
●動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

□タンクのお手入れ

①排水栓を約1～2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じる

汚れが多い場合は、数回繰り返します。



△警告 排水時はお湯に手を触れない(やけどの原因)

ポイント ●わき上げ中は行わないでください。
●タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管(溝)のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店(販売店)へご連絡ください。(有償)